

令和7年度埼玉県公立学校教員採用選考試験選考方針 (小学校等教員・中学校等教員・養護教員・栄養教員)

第1次試験

I 選考方法

志願区分・教科ごとに選考する。

なお、試験種目別の配点は、下表のとおりとする。

試験種目	配点
筆答試験（一般教養・教職科目）	100点
筆答試験（専門分野）	100点
面接試験（集団面接）	100点

対象となる試験種目は、選考区分によって異なる。

勤務状況等調書については、選考する際の参考とする。

II 実施方法等

1 筆答試験（一般教養・教職科目）

(1) 内容等

択一式の筆答試験

(2) 時間

60分

(3) 出題範囲等

「令和7年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の筆答試験について（小学校等教員・中学校等教員・養護教員・栄養教員）」による。

2 筆答試験（専門分野）

(1) 内容等

択一式の筆答試験

(2) 時間

60分

(3) 出題範囲等

「令和7年度埼玉県公立学校教員採用選考試験の筆答試験について（小学校等教員・中学校等教員・養護教員・栄養教員）」による。

3 面接試験（集団面接）

(1) 1グループの人数

5名を原則とする。

(2) 試験員

2名とする。

Ⅲ 観察項目及び着眼点

1 面接試験（集団面接）

(1) 教職への理解

○教育法規、教育原理、最近の教育動向等について、基本的な知識があるか。

○組織の一員としての役割を理解し、責任を自覚しているか。

(2) 指導力

○教師として必要な指導ができるか。

○児童生徒の立場に立った指導ができるか。

(3) 経験

（臨時的任用教員経験者特別選考A選考）

○教師として求められる実践ができるか。

○経験を生かし、能力を高めていこうとする姿勢があるか。

（セカンドキャリア特別選考）

○民間企業等で培った知識や経験を教師として生かすことができるか。

○経験を生かし、能力を高めていこうとする姿勢があるか。

(4) 理解力・判断力

○質問の意味を正しく理解し、受け答えができるか。

○状況に応じた的確な判断ができるか。

(5) 協調性・社会性

○円滑な人間関係を築き、周囲と協力して行動することができるか。

○十分な社会性を備え、客観的なものの見方ができるか。

Ⅳ 評定

1 面接試験（集団面接）

着眼点をもとに受験者を総合的に捉えた評定をする。

第 2 次試験

I 選考方法

志願区分・教科ごとに選考する。

なお、試験種目別の配点は、下表のとおりとする。

試験種目		配点
面接試験	個人面接	100点
	集団討論	90点
論文試験		50点
実技試験	中学校等教員（理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語）	50点

勤務状況等調書及び適性検査については、選考する際の参考とする。

II 実施方法等

1 面接試験（個人面接）

- (1) 試験員
2名とする。
- (2) その他
個人面接には、場面指導を含む。

2 面接試験（集団討論）

- (1) 1グループの人数
6～8名を原則とする。
- (2) 試験員
3名とする。

3 論文試験

- (1) 内容
教育課題等に関する内容についての論述
- (2) 時間
60分
- (3) 字数
800字程度

4 実技試験

教科ごとに実施する。

Ⅲ 観察項目及び着眼点

1 面接試験（個人面接）

(1) 意欲・情熱

- 教師になりたいという意欲がうかがえるか。
- 児童生徒に対する教育的愛情が感じられるか。

(2) 倫理観

- 教育公務員として高い規範意識を備え、社会的責任を自覚しているか。
- 教師の言動が周囲に及ぼす影響を考慮することができるか。

(3) 明朗性・協調性

- 表情や動作に明るさや豊かさがあり、児童生徒から好かれそうか。
- 円滑な人間関係を築き、周囲と協力して行動することができるか。

(4) 理解力・判断力

- 質問の意味を正しく理解し、受け答えができるか。
- 状況に応じた的確な判断ができるか。

(5) 使命感・経験

- 教師としての責任をもち、児童生徒の立場に立った指導ができるか。
- 自らの経験を生かし、能力を高めていこうとする姿勢があるか。

2 面接試験（集団討論）

(1) 積極性

- 自分の意見を進んで述べているか。
- 討論に意欲的に参加しているか。

(2) コミュニケーション能力

- 討論の進展に沿って発言しているか。
- 他の人の意見を尊重しながら発言しているか。

(3) 貢献度

- 方向性を示すなどして討論を活性化させたか。
- テーマについて建設的な発言をしたか。

(4) 表現力

- 発言が簡潔明瞭で、声量や速さが適当か。
- 相手が理解できるように工夫して発言しているか。

(5) 誠実さ

- 言葉遣いが適切であるか。
- 礼儀正しく、落ち着きがあるか。

3 論文試験

(1) 論題の理解等

- 論題に正対しているか。

(2) 教育実践についての自分の考え等

- 主張が明確で、論理性を備えているか。

- 教師としての教育実践について具体的に表現しているか。
- (3) 構成・表現等
 - 用語、表記は適切か。
 - 全体のまとまりはあるか。
 - 字数は適切か。

4 実技試験

- 教科の指導に関する必要な知識・技能を備えているか。

IV 評定

1 面接試験（個人面接）

着眼点をもとに受験者を総合的に捉えた評定をする。

2 面接試験（集団討論）

着眼点をもとに受験者を総合的に捉えた評定をする。

3 論文試験

着眼点に基づいて評定をする。

4 実技試験

教科ごとに着眼点に沿って評定をする。